

# フレーズ&センテンス①

「サイ」とは「ロ」の元になった形(文字)のこと。この本では、白川静の著作から「ロ」や関連のある漢字について解説した文章を抜き出し、金子都美絵が絵を添えて再構成したものです。

白川静によれば、「ロ」とは神への祈りを込めた祝詞を入れておくための器だといえます。そう考えることで、「ロ」という形が含まれている他の様々な漢字に込められた意味も、おのずから明らかになってきます。

この本を読んでいると、たった1文字の漢字から驚くほど豊かな情景が立ち上がってきて、まるで歌集や詩集を読んでいるような気分でした。

私が特に好きなのは、「書」という字です。「書」は記された文字であり、記された言葉は持続的・固定的な呪力を持つとされました。現代においては、手で文字を書く機会も減り、漢字を思い出せずとも、パソコンが変換してくれます。しかし、たまには古代の人々に思いを馳せつつ、書初めなどしてみようかと思った次第です。(丸山)

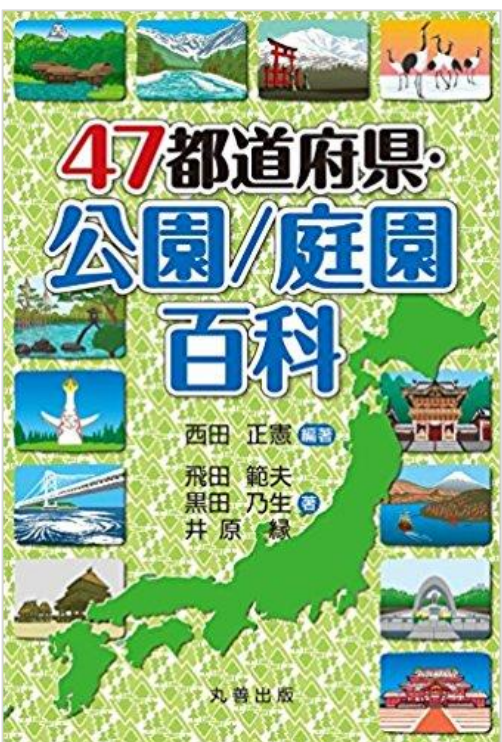
# WHAT'S NDC ③

NDCとは簡単にいうと、O〇〇の10ジャンルの分類方法のことをいいます。ここでは図書館の本を分類する際に使われる「日本十進分類法」について説明します。

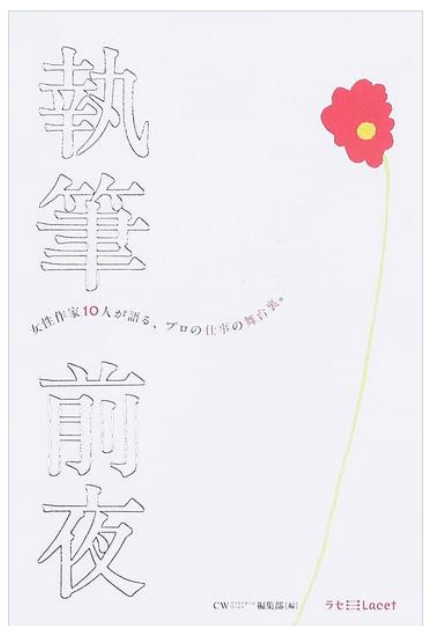
今回のNDCは「9」。9門は小説やエッセイ等の文学が該当します。その中から今回紹介する「執筆前夜」は10人の女性作家のインタビュー集です。恩田陸、角田光代、群ようこ他様々な作家のデビューに至るまでの経緯や作品への想いが描かれています。どのように作品を作っているのか? 物語の中に隠された本当に伝えたいことは? 物語を書き続けるコツなど、気になる一面を覗くことができます。触れたことのある作品もこの本の後に読み返すとまた違った楽しみ方があり、読んだことのない作品も興味がわいてきます。「人との出会いがすべて何かにつながる」「必要なのは、はじめること」などの言葉は普段の生活に響くもの。日頃小説を読まない人でも、啓発本としてもおすすすめです。(竹原)



## やよい TOPIX 本と出会う。



④ 47都道府県・公園/庭園百科  
西田正憲/編著 丸善出版



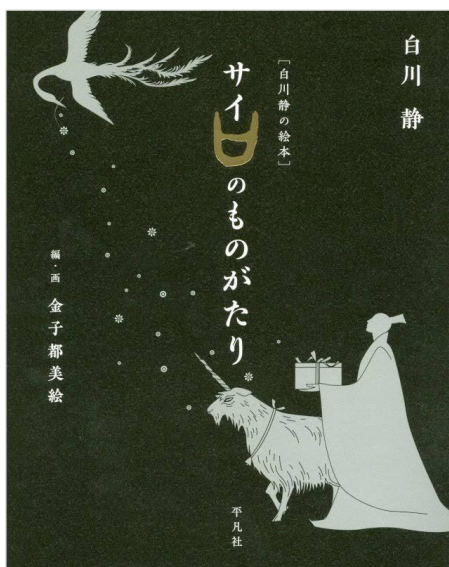
③ 執筆前夜  
CW編集部/編 新風舎



② 石ってふしぎ  
市川礼子/著 柏書房

こんな本もありますよ!  
『鉱石kids 21世紀こども遊戯塾 5』 関根 秀樹/著 小学館  
『ひとりでする川原や海辺のきれいな石の図鑑2』 柴山 元彦/著 創元社

「文字は、ことばの器として生まれた。」



① サイのものがたり  
白川静/著 平凡社

## 読書の窓

②

三が日明けの1月4日は「石の日」。特に制定されているわけではありませんが、語呂合わせからこう言われています。この日に、狛犬やお地藏さまなど、石でできたものに願いをかけながら触ると成就するという話もあるようです。

石の日にちなんで紹介する本は、『石ってふしぎ』です。崖から生まれるという球形の石「子生まれ石」といった不思議な形の石たちや、きつちりと美しく積まれた石垣などの建造物、神社や道端の石像・石仏など、著者が日本各地を旅して出会った、様々な「石」が写真と共に紹介されています。口絵を見るだけでも「こんな石があるの!?!」と驚くこと間違いありません。

本を片手に石に出会う旅というもの面白ですが、普段気にすることなく通り過ぎていた身近にある石をじっくり観察してみるだけでも新しい発見があるかもしれません。(松野)

## 再生館 セレクト ④

全国各地の公園・庭園のうち約340事例を厳選し、その魅力と楽しみ方を紹介! 公園と庭園は緑と水の織り成す魅力的な場所、自然と触れあうことで私たちの心と体を癒してくれます。自然公園は近代化の中で失われてゆく貴重な自然風景や動植物の保護と野外レクリエーションの推進、都市公園も市民に癒しの空間を与え、都市環境の保全、防災空間の確保といった役割を担っています。また寺社や大名などが保有していた庭園は、日本人の自然観や美意識を伝えています。

この本は全国各地にある公園・庭園のうち約340事例を厳選し、地域固有の自然・風景・歴史・文化とのふれあい方、楽しみ方を紹介しています。読者の旅心を掻き立て、一方で環境について考えさせてくれるこの本はあだち再生館の図書コーナーに置いておりますので、ぜひどうぞ。(再生館職員)